

子どものやけど どう対応すればいい？

株式会社日立製作所 日立総合病院
看護科 小児救急看護認定看護師

やけど



やけど

緊急性のあるやけど

- 子どもの手の平10個分より広範囲のやけど
- 水ぶくれができています
- 皮膚が黒く焦げている
- 皮膚が白くなっている
- 顔や陰部、関節のやけど
- 化学物質によるやけど
- やけどした後に痛みを感じない



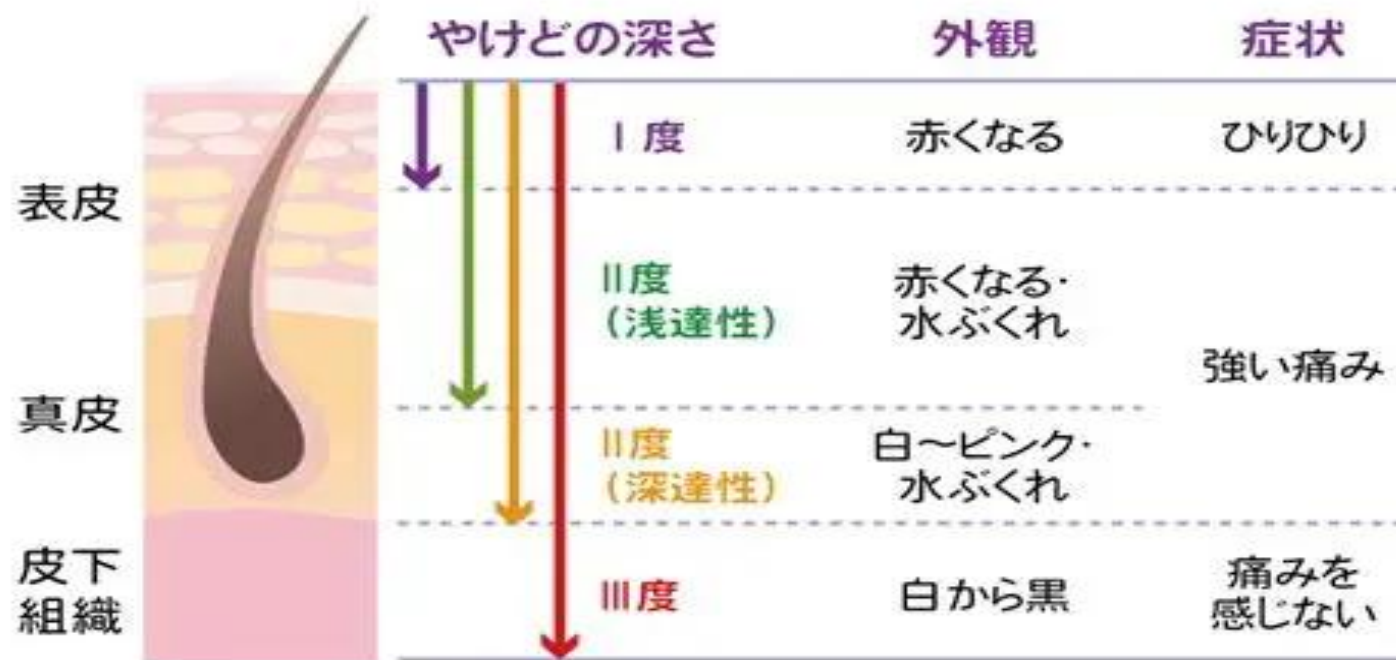
手のひら 1%分

やけどリスクが高い年齢、時間帯

- 0~4才に多い
- 夕食準備で目を離す
17時~18時頃に多い



やけどの重症度

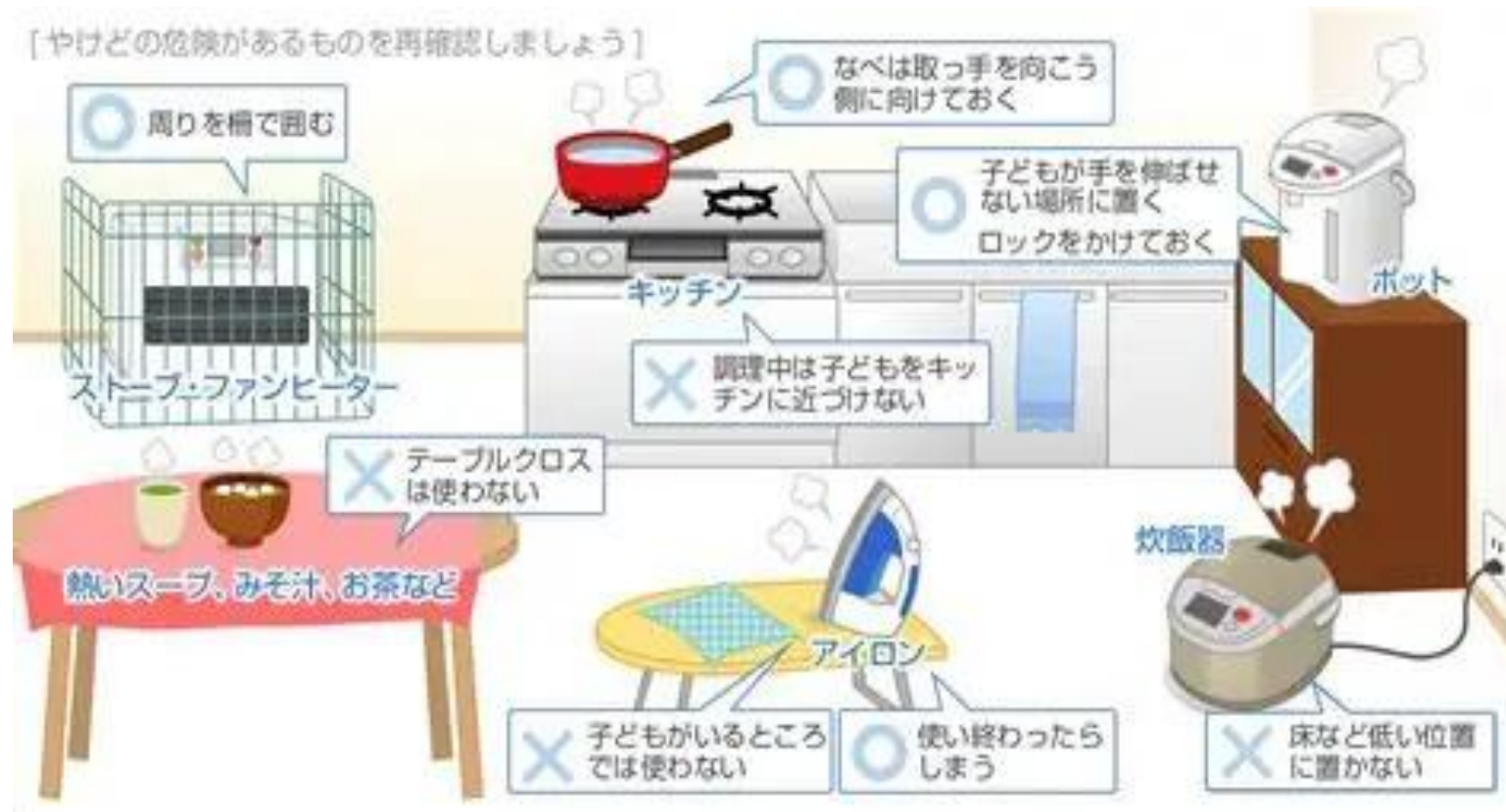


対応方法

- 流水で**10分以上**冷やす
(水温10度以上で)
- 服を脱がせられないときは
服の上からでも大丈夫
* 水ぶくれは破らない



やけどを防ぐためにできること



子どもの元気を示す
3つのサインとは？



大切なことは・・・

寝る



遊ぶ



食べる



3つができているか？

「寝る・遊ぶ・食べる」ができていれば
あわてて受診しなくても大丈夫

お家でゆっくり休むことも
大切な治療です

